（様式３）

会　議　の　要　旨　（　議　事　録　）

会議の名称	鳥栖市社会教育委員定例会		
開催日時	平成26年6月27日（金） 10時から	開催場所	市役所 ２階第２会議室
出席者数	１８人	傍聴人数	０人
議題	(1) 平成２５年度社会教育関係事業報告について (2) 平成２６年度社会教育関係事業計画について (3) その他		
配布資料	・ 鳥栖市社会教育委員定例会資料 ・ 「せいらサマースクール（伊万里市大川内小学校）」 （県社会教育委員連絡協議会総会及び基礎研修会資料）		
所管課	（課名）生涯学習課　　　　（電話番号）０９４２－８５－３６９４		

1.　開　会

○事務局(佐藤課長)

・委員欠席者の報告

○教育部職員紹介

○天野教育長あいさつ

2.　議　事　　　　　　　　　　　　　　　　　(※発言者　○:委員、●:事務局)

(1)平成25年度社会教育関係事業報告について担当課より報告。

○県より万引きやたまり場、特に夏場のコンビニの駐車場に若い人がたむろして客が入れない状況という情報提供あり。

○公民館がまちづくり推進センターとなり、教育活動についてはそのまま継承できている。趣味・教養講座は地域住民の参加が多くなりよくなっている。特に麓は2.5倍。まちづくり推進センターになってどんなことがよかったのか。

○変わったのではなく、まちづくり推進センターの母体は公民館だ。少ない予算で地元の人を活用しながら行っている。

○すばらしい。他のまちづくり推進センターにも情報交換をお願いする。

○若い方から相談を受けた。昨年度利用していた講座が今年度から使用不可となった。講師料、テキスト代として参加費をとっていた。開催予定日にキャンセルになったとのこと。どういう状況が考えられるか。また、地域住民の方で申し込むように言われたが、講師も地域住民だった。

●事実関係をつかんでいない。考えられるのは、長い主催講座をサークルへの移行。講師ではなく、住民の方の申し込みとなっている。

○販売目的は認めていないが、これを使ってこういう事業を行うという場合は認めている。

●主催者が誰かということになると思うが、営利目的は駄目、公民館の機能を引き継ぐということで、公民館は社会教育施設であって貸館業ではない。基本的に教室を主催する方へお貸しすることはない。サークルで集まって講師を招くことはあっても、講師が教室に参加する方を募集しますということでお貸しはできない。

○別の会場を使用されたが、急に駄目という理由をきちんと説明をしてほしかった。

●どちらにしても急に断るのはよくない、状況はわからないが、状況確認後、報告出来る様にしたい。

○市老連では「生きがい学び塾」を立ち上げようと検討中で、寺子屋英語教室、寺子屋国語教室、寺子屋算数教室をしていこうと思う。今は、英語教室を麓、鳥栖、田代の三か所でしている。麓と鳥栖は事務の方が全部してくれるが、田代は毎月、手続きをしないといけない。年間契約ではできないのか。

○放課後子ども教室の一環。市の方針では3か月前からの手続き。

●麓と鳥栖は放課後子ども教室として位置づけ、田代は一般のサークル活動として位置づけ。田代も放課後子ども教室として位置づけられないか持ち帰って協議する。

○子ども達のため、子ども達の国際社会進出のためにしている。いずれ、関係者の皆様に話をさせていただき、センター長の皆さんにご協力をいただき実施していきたい。

○もうひとつ気になるのがなかよし会、多い。在籍者数に比例しているのか。

●基本的に在籍者に比例している。若い世代が多い。核家族が多い。

●利用率が伸びている。法律が変わり小学6年生までが対象となった。市町村事業と法律で位置づけられた。今年9月に関係条例をあげるので、今パブコメを実施中。今後

定数管理が必要となり、待機なかよし会児童というのがみえてくる。保育所も含めて大きな転換期となっている。

(2)平成26年度社会教育関係事業計画について担当課より説明。

○ボランティア講師にも限界がある。予算増額を要望。
○今はボランティアも無償ではない。謝金が無ければ行事ができない。
○夏休み絵画指導を中学生にボランティアでお願いしている。有り難い。麓まちづくり推進センターを夏休みに開放している。龍谷短大、高校生のボランティアが来てくれればもっと賑わうのではないか。風呂が終了したので、風呂場の活用を考えて行かないといけない。風呂場後を活用して夏休みに何かできないかが課題。
○部長へお願い。予算を増やしてもらいたい。
○発掘調査成果展の説明をしてほしい。
—担当課より説明—
○学校で説明、出前講座をしたらどうか。子ども達は知らない。
●個別の学校からの依頼で職員が説明をしている。田代中のヒャーガンサン古墳や安永田遺跡の総合学習での現地説明、旭小は収蔵庫の説明、鳥栖小は元町の発掘作業の現地案内。
○麓まちづくり推進センター主催で勝尾城見学会を行う。集合場所を陸上競技場にしているので、ご参加を。
○一緒に行きましょう。昨年度は勤労青少年ホームの視察。今度気になっているのは社会教育研修場。この会で施設を視察するのもよい。
○勤労青少年ホームの使用人数は昨年度と比べてどうか。使用料は収入か。今一つ青少年の利用についてはよくなっているとは感じない。
●減っている。目的外利用の方には利用料をいただいての使用で収入。前回説明をしたが、まちづくり推進センターと同じ金額で利用が出来る。減免は、まちづくり推進センターとは違い最高50パーセントの減免にはなるが、基本的な利用料は同じなので利用いただければと思う。
○市報に載せているが、麓まちづくり推進センターで、はがくれ講座を募集中。宣伝。

— 教育長ほか各課長退席 —

(3)その他。伊万里市大川内小学校の「せいらサマースクール(県社会教育委員連絡協議会総会及び基礎研修会資料)」、国の「放課後対策の総合的な推進（平成２６年５月２８日開催の産業競争力会議の資料の１ページ)」についての紹介、説明。

○サマースクールの問題、学校を地域がどう支援していくのか。学校が計画すると取り組みやすいのではないか。大事なこと。
○子ども達は、学校を離れたら自由にできると思っている。学校ではきちんとしているのに、いう事を聞かない。学校と同じだという事を抑えていなかないとできない。風呂場の改修について市の方針を明確にすることが大切。受け皿はいくらでもある。子どもと向き合う方々をどう選ぶか。
○学校も今年はクーラーがつく。大川内は５０人を対象にしたサマースクールだが、鳥栖は大きい、学校の空き教室もないが、教室にクーラーがつけば私達にも何とかできるのではないかと思う。

３．　閉　会